

新技術・情報名		推進部会名	蚕 系
稚蚕人工飼料育蚕における増産方法			
実施場所		分類	※ ②
三重県農業技術センター養蚕部			

1. 成果の内容

1) 技術・情報の内容及び特徴

稚蚕人工飼料育蚕の社会養蚕体系において、繭重、繭層重が軽い傾向にある。これを解消する方法として社会期に夜間照明及び既に実用化されている生理活性物質（マンタ）散布と夜間照明の併用を実施する。

2) 技術・情報の適用効果

社会期による差異はみられるが、夜間照明により5～10%の増加となり、更にマンタの併用を行えば、その効果は増大される。

3) 適用範囲

社会期に人工飼料育蚕を実施している養蚕農家

4) 普及指導上の留意点

経過の斉一化をはかり、又飼育温度が適温を大きくはずれない飼育施設が必要と思われる。

2. 具体的データ（図表）

1) 社会期における照明時期別試験^a

養 期	照明時期		経過日数		収繭量 c		繭 重		繭 層 重		繭層量歩合	
	4齢 ^b	5齢 ^b	日	所	kg	指数	g	指数	cg	指数	%	指数
春	対 照 区		12	・ 21	21.6	100	2.17	100	52.0	100	23.74	100
	全 ・ 全		13	・ 17	22.9	106	2.32	106	57.1	110	24.41	104
	後 ・ 全		13	・ 17	23.1	107	2.35	107	57.4	110	24.42	103
	後 ・ 前		13	・ 04	22.9	106	2.32	106	55.5	107	23.92	101
	後 ・ 中		13	・ 04	21.7	100	2.20	100	54.5	105	24.77	104
	後 ・ 後		13	・ 17	22.3	103	2.27	104	54.8	105	24.14	102
晩秋	対 照 区		12	・ 17	19.4	100	2.10	100	47.0	100	23.50	100
	全 ・ 全		14	・ 00	20.5	106	2.10	105	51.7	110	24.42	105
	後 ・ 全		14	・ 00	20.7	107	2.12	106	51.5	110	24.27	103
	後 ・ 前		13	・ 10	20.3	105	2.07	105	49.9	106	24.44	106
	後 ・ 中		13	・ 10	19.8	102	2.02	101	47.4	101	23.47	100
	後 ・ 後		14	・ 00	19.9	103	2.05	103	51.5	110	25.12	107

a. 実施年度：1983年。b. 照明時期：対照区は自然条件下で飼育し、試験区はそれぞれ次のとおりとした：4齢後期（後）、飼食48時間以降；5齢前期（前）、飼食後3日間；（中）4～6日；（後）6日目～上簇
c. kg/1万頭当たり

2) 社会期における照明およびマンタ散布併用試験

実施年度	養 期	試 験 項 目	経過日数		収繭量		繭 重		繭 層 重		繭層量歩合	
			日	所	kg	指数	g	指数	cg	指数	%	指数
1981	春	照 明	14	・ 00	20.2	107	2.12	105	50.8	105	23.96	100
		照明+マ?	14	・ 17	22.6	120	2.36	117	56.4	117	23.90	100
		対 照 区	12	・ 21	18.8	100	2.02	100	48.4	100	23.96	100
	初秋	照 明	14	・ 00	16.6	104	1.91	108	48.0	111	25.13	103
		照明+マ?	14	・ 00	18.1	113	2.06	116	52.0	121	25.24	103
		対 照 区	13	・ 00	16.0	100	1.77	100	43.1	100	24.35	100
1982	春	照 明	14	・ 02	22.2	106	2.25	105	57.2	108	25.42	103
		照明+マ?	14	・ 21	24.1	105	2.59	120	65.4	123	25.25	102
		対 照 区	13	・ 20	20.9	100	2.15	100	53.2	100	24.74	100
	晩秋	照 明	14	・ 00	18.7	102	1.99	105	47.3	111	23.77	105
		照明+マ?	14	・ 18	19.5	106	2.06	109	48.9	115	23.74	105
		対 照 区	13	・ 16	18.4	100	1.89	100	42.6	100	22.54	100

3. その他特記事項

稚蚕人工飼料育蚕の社会養蚕体系における光線管理試験。昭56～58。県単